

すんどおー！沖縄さくらねこTNRプロジェクト

実施報告書



公益財団法人どうぶつ基金

琉球わんにゃんゆいまーる

平成28年度

すんどおー！ 沖縄さくらねこTNRプロジェクト

目的

本事業は、猫の不妊手術による殺処分ゼロ実現を目的とする

連携事業

どうぶつ基金と琉球わんにゃんゆいまーるは、次の事業を連携して実施する。

(1) 猫の不妊手術

(2) 上記に伴う獣医療 ※「さくら耳カット」は不妊手術を行う際に必須とする。

役割分担

本事業における各契約者の役割及び費用分担は次のとおりとする。

1、公益財団法人どうぶつ基金

ねこの不妊手術、さくら耳カット、ワクチン、ノミダニ駆除薬費用の全額支払い

2、琉球わんにゃんゆいまーる

上記以外のあらゆる業務とそれにかかる費用

3、本事業の広報は契約者全員で積極的に行うよう努める

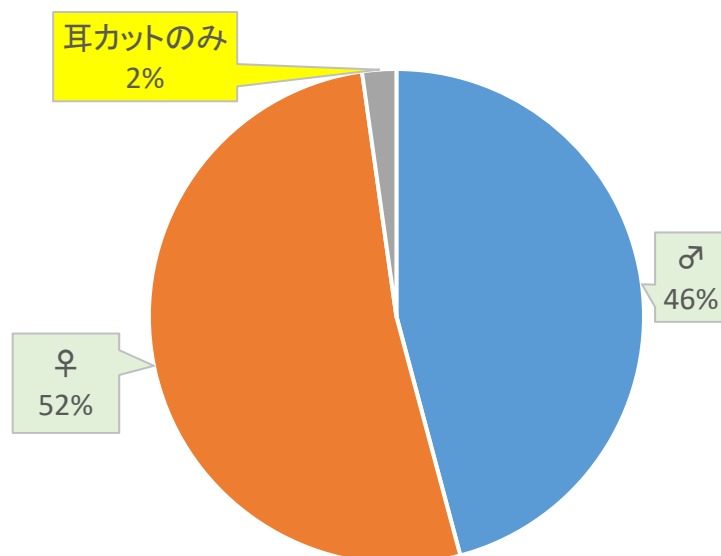


手術数

	オス	メス(内妊娠)	耳カットのみ	計
第1回	31	33(9)	1	65
第2回	67	76(17)	4	147
第3回	80	80(9)	2	162
第4回	131	161(4)	8	300
合計	309	350	15	674

* 耳カットのみ:既に不妊手術済であった猫に手術済みのしるしとして耳カットを施した。

すんどおー！沖縄さくらねこTNRプロジェクト



ボランティア数

	日付	設営準備	獣医送迎	会場手伝い	会場後片付け	計
第1回	2016/1/14.15.16.17.18	5	1	55	6	67
第2回	2016/5/18.19.20.21.22	8	2	95	10	115
第3回	2016/9/8.9.10.11.12	8	2	85	7	102
第4回	2017/1/12.13.14.15.16.17	8	1	95	10	114
合計		29	6	330	33	398

琉球わんにゃんゆいまーる管理ボランティア(延べ人数)

すんどおー！ 沖縄さくらねこTNRプロジェクト



ねこの不妊手術 **500匹**
ワクチン・ノミダニ駆除
どうぶつ基金が全額負担



沖縄はねこの殺処分ワースト9位から殺処分ゼロへ！

沖縄県における猫の殺処分

引き取り数						処分数 (下段は幼齢個体の内数)		
飼い主から		所有者不明		合計		返還数	譲渡数	殺処分数
成熟 個体	幼齢 個体	成熟 個体	幼齢 個体	成熟 個体	幼齢 個体			
78	0	1,625	359	1,703	359	18 (1)	144 (14)	1,910 (322)

平成27年度環境省調べのデータによると、沖縄県は年間1,910頭の猫を殺処分しており、殺処分数は、ここ数年、ワースト上位に位置している。

沖縄26年度猫殺処分ワースト9位



詳細 報告

開催	会場名
第1回	宇栄原団地自治会(那覇市)
第2回	糸満西崎運動公園(糸満市)
第3回	沖縄市センター自治会(沖縄市)
第4回	沖縄市コザ運動公園(沖縄市)

➤ 手術総数:674頭

➤ ボランティア総数:398人

➤ スケジュール管理・計画

- ・当初は何年もおき合いのあるボランティアさんが抱えている地域の猫たちを対象に実施を計画
- ・人間関係によるトラブル防止や継続手術を自主的に行って頂ける方を選定する為、人選にあたっては信頼関係を重視

➤ 苦労した点や、課題など

- ・場所の確保が難しく、当初予定していた地域が不可能になり急遽違う場所で開催した回もあった
- ・毎回違う場所になるため準備、片付け、移動に手間がかかった
- ・継続手術の場所と新規での場所の同時並行で実施する場合、限られた数の捕獲器、捕獲できる人材の不足などで継続手術の場所がどうしても手薄になってしまった
- ・事業後のえさやりさんのマナーや公園管理の方々との連携をもっと強めてよりよい環境にできるよう今後はフォローが重要と考えている
- ・今後は継続手術の場所に力を入れ速攻で継続して行えるよう徹底していきたい
- ・行政をもっともっと巻き込み市民へのTNR活動への啓発も行っていきたい

➤ 工夫した点

- ・一番大切なのは、ボランティアの確保。一度参加頂いた方には名簿に記入して頂き2回目3回目にご参加頂けないか確認して確保に努めた
- ・動物看護師の専門学生や、大学のサークルの学生にも積極的に声をかけさせて頂き、ボランティアの確保に努めた。
- ・人間も猫もかなりの暑さになり大変なので、真夏の実施は回避した

➤ 成果、社会的な影響・意義

- ・TNRを行った各場所で地域の方々や公園管理者等を巻き込み意識の向上に繋がったこと
- ・飼い主のいない猫問題でお困りの地域住民や、増えすぎてどうしていいかわからない(金銭的に不妊手術が難しかった)えさやりさんから喜ばれたこと
- ・多頭飼育で金銭的問題で手術が難しく、繁殖し続けていた猫を手術できたこと
- ・ボランティア参加された方やチラシを見てTNR活動を知って下さった方が自主的にTNRを行って下さったこと
- ・行政(市町村)がTNR活動に興味を持って下さり協働したいと申し出て下さったこと
- ・なりより674頭の飼い主のいない猫の繁殖を制限でき、不幸の連鎖をとめられたこと

殺処分ゼロを目指して！



公益財団法人どうぶつ基金

琉球わんにゃんゆいまーる